

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年8月17日(火) 午後7時～8時40分

2 場 所：豊沢ふれあい会館

3 出席者：32人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：乾燥式のごみ処理機は、炊飯器程度の大きさとコンパクトであり、各家庭で取り組めば、生ごみの減量効果があるのではないかと？

A：市もごみ処理機について、研究を進めています。ごみ処理機には、大きく3タイプがあり、1つ目は肥料化するもので、一番一般的なものだと思います。資源循環型としては最適ですが、畑や花壇がある方は問題ないですけど、肥料を使う場所が問題になります。次に紹介いただいた乾燥式。熱によって、生ごみを乾燥させることにより、体積を例えば10分の1くらいにし、ごみの量を減らすものです。使いやすいですけど、少し電気代が掛かります。最後に分解式で、微生物が食べ、分解され出た残渣を、水で流し、浄化槽などで処理するものです。こちらは、臭いがほぼないので、大型処理機については、このタイプの検討を進めています。近く機械を借り、市内でデモンストレーションを行いたいと考えております。

また、お話のあった家庭用のごみ処理機についても、今後補助を行い、普及を図っていきます。

Q：生ごみ処理機について、最終的に水に流すのでは、水が汚れるのではないかと？肥料として、市民に分ければいいのではないかと？

A：分解式の生ごみ処理機は、入れた生ごみを微生物が食べることにより、大きく減量化させ、出てきた残渣を水で流し、浄化槽などでさらに処理を行い、きれいになったものを排水するものです。そのため、水が汚れることはありません。また、液肥の状態を取り出すことも可能ですので、肥料として市民の皆さんに使っていただくことも、検討していきたいと考えます。

Q：紙おむつのリサイクルについても、検討して欲しい。

A：現在、全国で2か所ほど、紙おむつのリサイクルを行っている自治体があり、いずれも、ユニ・チャームが関係しています。ユニ・チャームでは、全国10か所くらいで、リサイクルをしたいと考えており、ご存じのとおり、掛川市に工場がありますので、掛川市とユニ・チャームと共に、リサイクルを行う話を進めています。ただし、まだ、具体的にはなっていないので、特に説明等は行いませんでした。

Q：コンテナで回収した草木は、どのように処理するのか？中遠クリーンセンターにも多くの草木が持ち込まれているが、こちらは燃やしてしまうのか？

A：コンテナで回収した草木は、市内で処理を行っている業者が八ヶ代造園しかありませんので、八ヶ代造園で肥料化を行います。また、中遠クリーンセンターに持ち込まれている草木については、八ヶ代造園に運び、既に肥料化を行っています。ただし、草木にそれ以外のごみが混ざっていると、肥料化できませんので、それらについては、燃やすこととなります。

※中遠クリーンセンターに草木を持ち込む場合は、肥料化が行えるように、その外のごみとは混ぜないで、搬入するようにお願いします。

Q：それらの肥料は、どこで使用されているのか？

A：八ヶ代造園は、商売でやっていますので、有料で販売をしております。

Q：草はすぐに生えてくるので、コンテナの設置について、年2回では少ないのではないのか？

A：提案の内容は、庭木や植囲いの手入れについて、お祭り前や夏の伸びる時期と、大体皆さん同じではないかと考え、年2回程度、希望により、各自治会の公会堂などに設置できないかと考えているものです。草については、年2回では少ないとのことですが、各自治会に配置するのは、量も少なく効率が悪いし、ずっと置かせてもらうわけにもいけないでしょうから、可能であるならば、南と北、中央の3か所くらいに、常時設置できないか、検討していく考えです。

Q：生ごみの共同処理について、もう少し具体的に説明して欲しい？

A：希望により大型生ごみ処理機を設置し、地域の人たちで、グループをつくっていただき、処理することを考えています。誰でも参加していただいて結構ですけど、ある程度登録制にして、個人の責任を明確にしておかないと、生ごみ以外のものも捨てる人が出るなどの問題が起こってしまわないかと考えています。

生ごみについては、外に捨てに行くのが面倒と思われるかも知れませんが、先行している市町村では、「家の中に生ごみを置いておかなくてよいので、臭いがしない。魚の調理も、以前は生ごみの収集日の前の日だけとしていたが、今は好きな時に料理ができる」などの好評価の意見もあるようです。

Q：生ごみを回収し、堆肥化している長野県の自治体に見学に行ったことがあるが、そういった計画はないのか？

A：大規模に堆肥化を行う工場をつくることができれば、最も良いと考えます。生ごみの堆肥化を行っている多くの自治体では、民間の企業が堆肥化を行っています。本市でも、そのような希望を持つ企業があり、市も共に可能性を探っていましたが、どうしても工場立地先の地域の皆さんの理解が得られないとのことで、断念したと伺っています。今は、大型生ごみ処理機を複数台、市内に設置し、代替えできないかと考えています。

Q：2月に条例を議会に諮ると言ったが、否決されれば、値上げはないのか？

A：そのとおりです。

Q：クリーンセンターが新しくなった時に、廃プラは燃やしても良いとしたのではないのか？分別の方法が変わるのなら、事前に周知をしてもらいたい。

A：プラスチックは、容器包装プラスチックとそれ以外と大きく2つに分かれます。容器

包装プラスチックは、容器包装リサイクル法により、リサイクルを行うよう、求められています。一方、容器包装プラスチック以外のプラスチックは、リサイクルはせず、中遠クリーンセンターができる前は、最終処分場で埋め立て処理を、中遠クリーンセンターができてからは、ダイオキシンも問題ないということで燃やすようにしました。その時は、自治会の集団回収で、分別収集した後、中遠クリーンセンターで燃やしていました。また、汚れている容器包装プラスチックも、収集業者が分別し、リサイクルできませんので、焼却処分をしていました。それらのプラスチックは、月2回の集団回収日まで、ご家庭で溜めておいていただいていたのですが、量が多く大変という意見が多く出ましたので、どうせ燃やすのだからと、利便性を図るため、「緑の袋に入れ、可燃ごみとして出して良い」こととしました。そうしたところ、プラスチックは何でもかんでも燃やしていいとなってしまったので、そうではないことを周知しておりますが、誤解を払拭するまでには至っていない状況です。

Q：色々と減量化策をしたけど減らないので、有料化するというのが本来ではないか？雑紙も、ビニールの窓付き封筒やホチキスの付いたものがリサイクルできるなら、まず先にやってもらいたい。

A：皆さんはまだまだと言われますけど、市も、何もしてこなかったわけではありません。分別については幾度となく啓発を行っており、「水切り大作戦」と銘打って、水切りグッズやちらしを配りながら、2,000人近くにPRも行いました。しかし、あまり成果が出ませんでした。なぜかと言うと、市もお金がないものですから、お金も掛けないで、今までは皆さんにお願いするだけでなんとかしようとしてきたからです。今、ビニールの窓付き封筒のリサイクルと言われましたが、これら今までリサイクルできなかった雑紙のリサイクルを行うには、1,000万円以上の新たな費用が必要です。今回は、有料化により得られた収入で、お金を掛け、こういったリサイクルに取り組みたいと考えますので、ご理解をお願いします。

Q：コロナで古着が回収されていないのも、燃えるごみが増える原因ではないか？

A：コロナの関係で古着の回収が行われていませんでしたが、回収を始めた所もあります。少し遠いですが、旭町の杏林堂の北西、シュープラザという靴屋の北側の回収場所では、古着の回収を行っています。また、さらに遠いですが、下山梨、周南中学校を少し北側に行った所でも行っています。なお、着られる服については、川井のキングファミリーというお店で、ある程度大量であれば、有料で引き取ってくれる話もあります。

Q：30円の値上げは正直きつい。少し上げ、様子を見て、ごみが減らないなら再び上げると、段階的にしたらどうか？我が家は、除草剤を使わないので、一度に17袋を使用したことがあり、かなりの負担である。

A：皆さんに説明を行うのに、「金額は決まっていない」、「金額の根拠も特にない」では説明になりませんので、全国的に最も効果の出ている30円で提案をさせていただいています。ただし、30円の金額は決定ではありません。今回の説明会で、皆さんの意見を伺い、総合的に判断をしてみたいです。

それから、動画では4人家族で月500円負担が増えると説明しましたが、これはあくまでも平均で、私の家では、生ごみはコンポスト、雑紙や容器包装プラスチックも手間を掛け分別しており、平均の4分の1、1週間に3001袋しか使用していません。そうすると、1か月約130円、年間1,560円の負担の増加で済みます。ごみを減らせば、負担も減りますので、ご理解、ご協力をぜひお願いします。

また、草については、先ほどお話しした草木の回収コンテナをぜひご利用ください。

Q：雑紙の回収はいつから行うのか？有料化以前にできるのか？自治会への周知もあると考えるがどうか？

A：自治会の協力をいただき、集団回収場所からの回収を考えていますが、1,000万円以上掛かる見込みですので、有料化と同時にやりたいと考えています。

Q：資源回収の際、可燃ごみも出されてしまうことがあるので、看板等での周知を考えてもらいたい。

A：そういった事実も承知しているので、検討させていただきたいです。

Q：近隣市の状況はどうか？

A：掛川市は袋の料金が22円、森町が18円、伊豆は多くが20円、現在一番高いのが川根本町で30円です。磐田市は有料化していないので7円。浜松市も同様ですが、今有料化を検討しています。その外、静岡市、沼津市、富士市、裾野市、島田市、富士宮市といった所が有料化を検討中と聞いています。

Q：市の事業で出ている温室効果ガスのうち、ごみの焼却以外で出ているものは、どういったものか？

A：3万トンのうち2万2千トンぐらいがごみの焼却で出ていまして、残りは、例えば市役所でも建物内で電灯をつけたりしていますが、その電気を発電するために二酸化炭素が発生していますので、そういったものを換算して合計すると、残りの8千トンくらいになるわけです。

Q：資料に中遠クリーンセンターの延命とあるが、炉がだめになってしまうのか、処理限界量を超えてしまうのかどちらか？

A：ごみ処理量が増え、炉が痛むということはありませんけど、だめになってしまうわけではなく、処理限界量を超えてしまうよということですので、「延命」という表現が必ずしも適正ではなかったと考えます。申し訳ありません。

Q：先ほどの生ごみ処理機の話は、公共施設に大型の処理機を設置し、共同で処理ということで、家庭でということではないということか？

A：家庭用は家庭用で、ごみ処理機の補助を別に行いたいと考えています。

Q：コミュニティセンターと、出す場所が限られると面倒くさいように思うがどうか？

A：設置するのは、公共施設の方がいいかと思しますので、分かりやすいように、コミュニティセンターと説明をしています。ただし、もっともっと、設置場所を増やしたいと考えています。例えば、民間のレストランやスーパーでも、生ごみは多く出ているので、そういったものも処理してもらいたいと考えますが、民間のものを市が行うわけにはいかないので、料金徴収が必要だと思います。また、近所のスーパーに設置している処理機を、近所の人たちも処理することができないかなと考えています。

Q：今日の説明会について、これで終わりではなく、しっかりとやり取りが分かるものを残していただきたい。

A：今日までに実施した8会場は、議事録やアンケート結果をホームページに載せています。今日の内容も、同様の予定です。また、ホームページを見られる人ばかりでないとの意見もありますので、最終的には紙の形で、班内回覧等により、周知を行っていきたいと考えています。

Q：新しいクリーンセンターの炉は、「何でも燃やせる」という話ではなかったか？

A：中遠クリーンセンターについては、全てのごみ処理方式の中で、最も高温で処理しますので、「何でも燃えてしまいます」ということですが、「何でも燃やしていい」ということではありませんので、ご理解をお願いします。

Q：値上げしたのに、またごみが増え、再度値上げということになることはないのか？

A：説明させていただいたように、有料化で得られた収入により、雑紙のリサイクルや生ごみ、草木の肥料化など、新たなごみ減量化策を講じていき、市が確実にごみを減らしていきます。

Q：森町も同じ時期に39円に値上げするのか？

A：今まで森町は18円と、袋井市の9円に比べ、高い袋を使っていました。従いまして、基本的には値上げすることはありません。ただし、森町には袋井市の状況を、常にお知らせしています。しかし、袋井市が森町の袋の値段を決められるものではありませんので、ご理解をお願いします。

Q：掛川市は「ごみ減量大作戦」ということで、キャッチコピーやシンボルマークを作り、ごみ減量に取り組んでいる。袋井市も頑張っていると思うが、見えてこない。隣の市の取り組みを参考にすべきだと思う。

A：参考にできるところがあれば、ぜひ取り入れていきます。

Q：掛川市は、草木の民間処理について、市が推奨している。袋井市も行えばどうか？

A：掛川市は、民間の処理施設が4か所ありますが、袋井市は八ヶ代造園の1か所と少ないです。袋井市が推奨できない理由は、中遠クリーンセンターのごみ処理費が安く、八ヶ代で肥料化するより、燃やしてしまった方が安上がりだからです。今、中遠クリーンセンターの手数料を、掛川市並みにすることを検討していますので、そうなれば八ヶ代で処理してもらおうよう、PRをしていきたいと考えます。

Q：「ごみの出し方ガイド」の改訂は行わないのか？

A：ごみ処理の有料化に合わせ、改訂させていただきます。

Q：磐田市は、静岡産業大学の協力で、ごみ出しアプリをつくった。袋井市にも静岡理工科大学があるので、アプリをつくればどうか？

A：磐田市を参考にさせていただきます。

※磐田市のアプリを使用してみました。「ごみカレンダー」や「ごみ分別検索」については、袋井市も同様のアプリ (fukuroi.5374.jp) がありますので、ぜひご利用ください。磐田市のアプリにある「新着情報」や「しっぺい耳より情報」に掲載されている情報は、袋井市のアプリ上にはありませんので、必要に応じ、追加を検討いたします。